



エフピコ環境基金
The FP Corp. Environment Fund

通期報告まとめ

(2023年10月1日～
2024年3月31日活動分)

助成先一覧

①環境保全活動 12件

特定非営利活動法人 チャウス
特定非営利活動法人 宮島ネットワーク
認定特定非営利活動法人 神奈川海難救助隊
特定非営利活動法人 湘南クリーンエイドフォーラム
認定特定非営利活動法人 河北潟湖沼研究所
特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム
瀬戸内海宇治島クラブ
特定非営利活動法人 エシカルプロジェクト
公益財団法人 肥後の水とみどりの愛護基金
NPO法人 ひらかた生物飼育部LABO
一般社団法人 くりはらツーリズムネットワーク
特定非営利活動法人 ジョイライフさやま

②環境教育・研究活動 8件

認定特定非営利活動法人 びわ湖トラスト
認定特定非営利活動法人 とす市民活動ネットワーク
公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
小泉ユニバーサルビーチユニット
特定非営利活動法人 こもれびの里
一般社団法人 みんなでびぜん
TeamJIN「仁」
特定非営利活動法人 吉里吉里国

③「食」課題解決・「食」支援に関わる活動 2件

特定非営利活動法人 フードバンクさが
特定非営利活動法人 百菜劇場

特定非営利活動法人エシカルプロジェクト (埼玉県)



活動実績

フードロスから始まった災害時の野菜救済活動を中心に、コミュニティの持続可能な食生活を促進するための様々な取り組みを行いました。

まず、災害時に捨てられる予定の野菜を救済し、有効活用するプロジェクトを立ち上げました。この取り組みは地域の食品ロス問題を軽減しています。

次に、コンポスト推進活動を通じて、生ゴミを有機堆肥に変える取り組みを行いました。これにより、地域のコンポスト利用者を80人増やすことができました。また、コンポスト堆肥を使用して地域での野菜づくりも始め、持続可能な農業の推進に努めました。

さらに、干し野菜を使った料理教室を開催し、食材の有効活用方法を提案しました。これにより、食品ロスを減少させるだけでなく、地域の食文化の継承と発展にも寄与しました。

最後に、食育活動を通じて、地域の人々に健康的な食生活の重要性を啓発しました。



一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク (宮城県)



活動実績

開催日時：2023年4月～2024年3月（毎月1回）、その他1回
参加者数：404人

宮城県栗原市のラムサール条約登録指定湿地「伊豆沼・内沼」に投棄されているゴミの清掃に取り組みました。毎月1回、日曜日の朝に1時間30分の活動時間でゴミ拾いイベントを13回実施（毎月1回、その他1回）、延べ参加者404人、拾ったゴミの量は385.75kgとなりました。地域の定例的なイベントとしての認知が向上し、参加者数は前年（191人）から倍増し、また、企業の社会貢献活動や小児科医師の子ども支援の活動にもゴミ拾いが活用されるなど、プロジェクトに多様な価値が生まれています。



特定非営利活動法人こもれびの里（岡山県）

活動実績

夏休みの行事「バンブーチャレンジ、ファミリーDAY
キャンプ」

日時・・・2023年7月22日（土）

参加者・・・40人 スタッフ・・・20人

内容・・・竹を使って食器づくり。竹炭パウダーで
発行させたピザ生地を自分で伸ばし、トッピングをし
ピザ窯で焼きます。また、竹で竹串を作り、五平餅を
作る。竹を長くつなぎそうめん流しもしました。その
後、竹のひごでコースターを作るワークショップもし
ました。



特定非営利活動法人ジョイライフさやま (埼玉県)



活動実績

開催日：6月25日（日）

川で見つけた生き物や草木で発想力や想像力を養い、水に入り遊ぶことで感覚機能や身体機能を豊かにする子供たち、水のいきもの図鑑や昆虫図鑑など教本を眺めながら真剣に学習していきます。ナミウズムシ、コオニヤンマ、ブユ類、カワゲラ類、エビ、ザリガニなど沢山の生き物に出会う事が出来、入間川の水質はきれいな水と評価され歓声が上がります。川を大切にしようとする気持ちを抱くことは河川のごみを拾い、海洋ゴミ問題への対策にもつながりSDGsへのアクションに繋げる体験となる活動と成っていきます。



特定非営利活動法人チャウス (チャウス自然体験学校) (群馬県)



活動実績

2023年度：計8回

参加者（延べ）：227人、スタッフ42人

内容：わたらせ川の環境保全・保護活動を年間を通じて計8回開催。わたらせ川流域の小学生親子を対象として、「ヤマメの卵を配布～稚魚になるまで育て～稚魚を放流する」活動や、魚な様々な増殖方法を学習し、「ヤマメの卵の直まき放流」を実際に行うなど、体験を活動を通じて、私達にも（家庭でも）出来る環境を行動を考え、実践（行動変容）していくためには？を考え、環境保全・保護の大切さ、あり方を学習しました。



特定非営利活動法人とす市民活動ネットワーク (佐賀県)



活動実績

・もくもく広場の開催

活動日時：2023年4月20日・5月18日・6月15日・9月21日・10月19日・2月15日 10:30~13:00

参加者：449人

内容：未就園児親子を対象に佐賀県産積み木・木製玩具のあそびの広場と子育て中の親達の交流の場の提供。

・木育らんどの開催

活動日時：2023年12月2日(土)・3日(日) 10:00~16:00

参加者：延2,368人

内容：遊具遊び（木の大型遊具・雲梯・木のトンネル・メリーゴーランド・ボーリング・ままごと他）

木工体験（木の花作り・丸太切り体験 他）

会場で配布した助成企業の取り組みを紹介した学習本は分かりやすい内容で、学校で学ぶSDGsの意味をより深く理解した児童が多かった。また、教育機関、企業、NPO、行政との連携を密にして実施することができた。



NPO法人ひらかた生物飼育部LABO（大阪府）

活動実績

私たち「ひらラボ」は大阪府立枚方高校生物飼育部で行ってきた生物多様性保全活動の続きをするために、卒業生が集まり設立した若いNPO法人です。現在は枚方市穂谷にある里山放棄水田をお借りして「飼育部ふぁーむ」と名付け、生物多様性保全型農業の実践プロジェクトを行っています。

2023年度はエフピコ環境助成で購入した器材を用いて下草刈りや水路整備、生物調査を活発化し、特に希少な両生類たちの湿地の産卵場を保ち続けることでその卵の確認数を20個➡82個に増やすことができました。また、調査により両生類のほかにも絶滅危惧種を含む多くの生物種が生育・繁殖の場として飼育部ふぁーむを利用していることが分かりました。地域住民への環境教育や活動報告も積極的に行い、里山湿地の重要性を広く示すことができたと考えています。



認定特定非営利活動法人びわ湖トラスト (滋賀県)



活動実績

(1) 琵琶湖でのマイクロプラスチックの調査を行いました。

(2) 7月30日に琵琶湖岸漂着ゴミの回収と分別を行いました。

本事業は、琵琶湖周辺の自治体や株式会社エフピコの社員ともコラボしました。

(3) 9月23日に国際シンポジウム（立命館大学）で研究成果を発表をしました。



特定非営利活動法人フードバンクさが (佐賀県)



活動実績

①学ぶ：食品ロス問題を処理施設や堆肥化から学ぶ。環境問題を実感し行動につながる（見える化）施設見学。食を楽しむための工夫を学ぶ。

②体験：食と環境の大切さを実感する農業と収穫物の保存・調理方法を生産者の指導のもと実践する。

③つながる： 参加支援：社会とのつながりを構築し人と物を循環させるべく、生産者と消費者、支援者と被支援者の交流と協働を促し農業や食育の現場を整えていく。

④伝える： 体験したことや、学んだことをSNSやマスコミ等を通じてより広く伝えていく。



公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (宮城県)



活動実績

仙台市内の小学校7校、486名の子供たちの環境学習を継続して支援した。

その中の一つである仙台市立芦口小学校5年生では、総合的な学習の時間で行う環境学習を支援した。5月に気候変動の出前授業を行って関心を持たせ、対策としてグリーンカーテンを紹介してゴーヤとアサガオの種を贈呈した。6月に子供たちが育てた苗を移植し、校舎の壁にカーテン用の麻縄を設置した。水やりなどの世話をを行い、8月末の出前授業で温度を下げる効果を確認することができた。その様子はテレビでも取り上げられた。子供たちはグリーンカーテンの脇に「SDGs実践中！」の看板を設置して地域にPRし、秋の学習発表会では保護者を招いて気候変動やグリーンカーテンの取り組みを伝えるなど、学校外にも広がりが見られた。



一般社団法人みんなでびぜん（岡山県）

活動実績

日 時 : 令和5年8月20日（日）9：30～13：00
集 合 : 日生駅前港
清掃場所 : 鹿久居島の再南東端の海岸
人 数 : 126名
参加者 : 一般の親子、地域の団体、ボランティア協会の大学生、環境省、岡山県、備前市

内 容
道路がなくアクセス困難な海岸に、上陸船を栈橋代わりにして、そこへ乗客船をつけて着岸し漂着ゴミの回収を行いました。漂着ゴミの回収は燃えるごみ、資源ごみ、粗大ごみに分別して、燃えるゴミは上陸船に乗せたパッカー車へ、資源ごみはトラックへ、粗大ごみは産廃業者へ引き取って頂きました。



瀬戸内海宇治島クラブ（広島県）

活動実績

開催日時：7月17日（海の日）

参加者：100名 スタッフ20名

内容：海の日にフェリーをチャーターし、無人島の宇治島に渡り砂浜に漂着したゴミを参加者全員で清掃を行った。また、子供達やその両親を対象に中国地方整備局が「環境学習」として、瀬戸内海における海面浮遊ゴミの現状や海洋環境整備事業を紹介した。

開催日時：2月25日

参加者：5名

内容：黒松の苗木500本の植樹を行った。定期的に植樹を行うことにより、緑豊かな島づくりを目指している。。



NPO法人河北潟湖沼研究所（石川県）

活動実績

開催日時：8月27日（日）

参加者：19人

内容：「河北潟カヌー体験・カヌーでゴミ拾い」

河北潟本湖、森下川河口付近でカヌー体験をしながら湖面からのゴミ拾いを実施し、遠目から見ると綺麗に見えるが、岸に近づくとゴミがたくさんある状況を体感してもらった。参加者からは自然体験と環境を守る活動を同時にできる有意義な活動だったという感想が聞かれた。

開催日時：11月12日（日）

参加者：18人

内容：「河北潟流域ツアー・ゴミ拾いと野鳥観察」

河北潟流域を海から上流までバスでめぐり、各地の自然観察と、ゴミ拾いを交互に実施した。ゴミ拾いは内灘海岸、河北潟の湖岸で実施し、河北潟の湖面や沿岸の田んぼにいる野鳥の観察を実施した。上流域では棚田の保全活動に取り組む金沢市牧山町で、当地の活動について、現地を見ながらお話を伺った。流域各地のゴミの現状、ゴミにまつわる活動の状況、生物に与える影響等について伝えながら、活動への参加を促した。



特定非営利活動法人 吉里吉里国 (岩手県)

活動実績

開催日時：8月17日(木)

参加者：町内の小学生13名

内容：

木工教室「大槌の木に絵を描こう」作品づくり、海と山のつながりのお話をした。材料は山から持ってきた枝や木の実の他、海岸で拾った貝殻やシーグラスなど。木材に触れ、想像力を育む作品づくりを行った。その後、海と森が繋がって影響しあっており、人間の生活にも関わりがあるという自然の循環サイクルについての時間を設けた。三陸沿岸は海と山が隣合わせにあり、森の栄養分が直接海へと流れること、森には適度に光が入ると下草が生えて動物の食べ物にもなること、食卓にあがる海のは巡り巡って森とつながっていることその他、大きくなりすぎた木は倒れると危険物にもなってしまう、安心して暮らすための木こりの仕事もあることなどを話した。「今日のみんなの作品は、見向きもされない枝や木の実、海の貝殻等を拾ってきたもので、みんなの手で、こんなに素敵な世界に一つしかないオリジナル作品になった。どうもありがとう!」、と言うと、子どもたちは少し照れながらも誇らしげな笑顔を見せてくれた。



特定非営利活動法人 宮島ネットワーク（広島県）

活動実績

開催日時：2023年11月11日（土）

参加者48人、スタッフ13人、計61人

内容：広島大学自然植物実験所内にある室浜海岸を清掃した。毎年3度目の清掃で、昨年330kg程度のゴミだったので、今年は200kg台と予想していたが、563kgもあった。新しい漂着漁網は同程度だったが、漁協のグループが隣の浜の漂着網を集めてくれたことと、砂浜に埋まっている古い漁網を掘り起こした結果と思われる。毎年の掃除でゴミが減るのはもう少し先か？



世界遺産クリーン作戦 13 ～宮島をきれいに～ 室浜海岸 2023.11.11（土）

特定非営利活動法人荒川クリーンエイド・フォーラム (東京都)



活動実績

ごみゼロ共創ネットワークと協働して、一級河川荒川の"産学官民協働持続方式"の技術移転に向けた啓発と実践活動を展開。

関西圏の企業のニーズに応じて河川/海洋ごみ問題の解決に向けた協働相談受付中（2024年度継続）。
荒川でも公募の清掃活動を実施した。

協働組織：日本プラスチック工業連盟
(<https://www.jpif.gr.jp/>)

淀川水系における活動に見える化ページを公開
((株) ピリカと協働 <https://corp.pirika.org/>)

<https://fpco-yodogawa.pages.pirika.org/>

当該助成事業概要はこちら

<https://cleanaid.jp/activity-report/2024/01/22003.html>



小泉ユニバーサルビーチユニット（宮城県）

活動実績

7月9日（日）

お宝と交換♪小泉海岸ビーチクリーン！

参加者：100人（大人80人・子供20人）

内容：「清掃活動」に対するイメージ向上・住み続けられる町づくりの為に、子供参加型のビーチクリーンにした。子供が清掃していることにより大人も積極的に参加する意識変革にもつながった。

12月26日（火） 収集ゴミ年間結果レポート作成

参加者：15人（大人5人・子供10人）

内容：海・川・山・ビオトープで1年間集めたゴミの種類や重量を1枚のレポートにした。これを住民・他小中学校・気仙沼市に配布した。授業で活用させていただくと中学校には言われています。



認定特定非営利活動法人神奈川海難救助隊 (神奈川県)



活動実績

期日：2024年11月5日（日）

参加者：当団体隊員5人 一般ボランティア活動参加者3人

内容：海洋に浮遊するビニール類をマイクロプラスチックになる前に回収する

写真：活動参加者集合写真は2024年11月5日（日）です、浮遊ごみ回収者写真は2024年3月3日（日）です



公益財団法人 肥後の水とみどりの愛護基金 (熊本県)



活動実績

- ・4月8日(土) 阿蘇大観の森第18回植樹 150人参加 モミジ ヤマザクラの苗木1,550本を植樹
- ・5月13日(土) 阿蘇水掛の棚田 第13回肥後銀行田植え 134名参加
- ・5月8日(月)～5月20日(土) 稲作企業ボランティア12社による田植えを実施 450名参加
- ・6月9日(金)～9月30日(土) 阿蘇水掛の棚田 地下水涵養量調査(データ取得)
- ・7月4日(火) 熊本県立芦北高校のアマモ研究室、海での観察に同行 当財団から2名参加
- ・7月22日(土) 阿蘇大観の森 下草刈り 50名参加
- ・9月1日(金) 阿蘇水掛の棚田に「気象センサー」を設置し計測を開始
- ・10月4日(水)～10月15日(日) 稲作企業ボランティア12社による稲刈りを実施 400名参加
- ・10月24日(火) 第37回肥後の水とみどりの愛護賞表彰式 7先を表彰
- ・同日「我が国における地下水資源の持続可能な管理のあり方」の演題で講演会を開催
- ・4月～3月 熊本県下 湧水の水質調査 定例18先 毎月実施
- ・「未来につなぐ水の話」のテーマで期間中7回実施 参加者457名

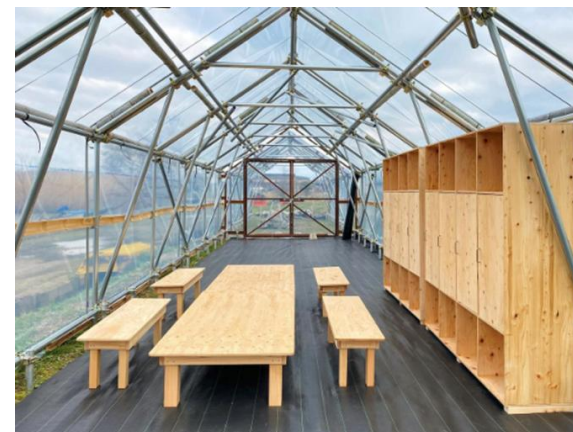


特定非営利活動法人百菜劇場（滋賀県）

活動実績

開催日時：6月24日（土）
参加者：17人、スタッフ3人
内容：京都橘大学 経済学部3年生17人に向けて、田植え体験を実施。都会育ちの学生が多く、お米やそれを育む自然環境に対する理解を深める機会を提供できた。また有機農業の課題について意見交換することができた。

農の学び舎の建築
有機農業の体験や後継者育成の拠点となる農舎を、地域住民とワークショップ方式で建築した。材料に地域資源の竹やヨシを使用することで、環境保全団体のコミュニティと繋がりをつくることができた。



NPO法人湘南クリーンエイドフォーラム（神奈川県）

活動実績

活動頻度：月3～5回ほど
参加者：延べ1000人程度

内容：ごみを拾いながらごみの動向を調査し、ごみの発生抑制に繋げていくことを目指す『調べるビーチクリーン』を根源療法的なツールとして定期的な活動にもちいる以外に、この手法を多様なエリアでのごみ拾い活動にももちいて幅広いデータを積み上げていきます。また一方で広域なエリアを連携させるためのツールとして調べるビーチクリーンを他団体へ普及させ、調べるビーチクリーンを広域なエリアを結ぶ共通ツールとしていくことを目指します。

具体的には月例で実施する辻堂海岸(藤沢市)での調べるビーチクリーン活動をベースに、10月-11月にかけて神奈川の150kmの海岸を一貫的に清掃する『ビーチクリーン駅伝』を実施します。そしてその翌年の4月-6月頃に『あちこちビーチクリーン』と称してビーチクリーン駅伝でごみの回収量の多かった海岸で調べるビーチクリーンを実施します。

